

# 会務月報 第467号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

## ■第5回 景観・まちづくり専門委員会概要

日時 令和3年12月17日(金) 13:30~15:15

場所 日事連会議室

出席者 委員長 柏本保

委員 村田良太、米田正彦、小林正澄、内田康博

事務局 居谷、前田、三浦、鈴木

欠席者 委員 小澤勝美

<使用資料>

資料1：建築士事務所協会・会員の景観まちづくり活動に関する提出単位会回答一覧

資料2：事例フォーマット(案) (米田委員提出)

資料3：事例分類説明資料(米田委員提出)

資料4：開設者・管理建築士のための管理研修会テキスト改訂—まちづくりに関する項目内容(内田委員)

議事

1. 建築士事務所協会会員の景観まちづくり活動に関する事例の確認、冊子編集およびフォーマットについての協議

○単位会からの回答について

景観まちづくりの活動をしている事例の募集について、石川会および沖縄会の回答を追加し、16単位会・23事例となっている。

○掲載するフォーマットについて

- ・見開きで基本2頁とし、分量の多いものを3頁ではなく4頁とする。
- ・左上の所在地がわかる日本地図も色分けしているが、混同しないようモノクロでもよい。

- ・文字数が多い場合は、右上欄は詰める。
- ・原案のとおり委員からのコメントは右下端で入る方がよい。
- ・事例は案件によって様々なので、図・写真等は執筆者の判断に委ねたい。
- ・左アキ部分に個人の活動か単位会の活動かは示す。
- ・キーワードなどの解説は入れてもよい。
- ・冊子のサイズはA4版とする。
- ・HPに掲載することも今後検討。

・アンケートの回答に書かれている概要で、既に文字数が多いものもある。

・必要に応じて詳細をHPのリンク先や会誌等の掲載号の紹介などを表示して案内するようにしてもよい。

○米田委員より事例分類説明資料を提出し、資料3に基づき説明がなされた。

・事例リストをつくり、カラーで分類することを考えている。

・最初の構成としては、①はじめに、②事例集企画内容の概要、③事例分類説明、④SDGsの説明を6頁以内でまとめたかと考えている。

○今後の進め方(スケジュール)について

・事例集の作成費用を令和4年度の予算に入れる必要がある。

・約100頁を想定し、2,000部と3,000部で印刷会社に概算で見積もりを依頼する。

・執筆の原稿料の支出も考慮しておく必要がある。

<スケジュール>

・回答のあった単位会へフォーマットをもとに執筆依頼文書を作成。1月20日の常任理事会後に文書を単位会および必要に応じて執筆者へ送付。

(その間、文書等についてメーリングで意見交換、必要に応じてWeb会議)

↓

・原稿の提出締め切り—3月20日

↓

・4月7日—本委員会開催(目次、割り振り決め)

↓

・6月末までに全体まとめ

↓

・7月8日ー 本委員会開催

↓

・委員会後、内容確定、校了

↓

・8月ー 印刷完成

## 2. その他

○「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」  
テキストの改訂について  
内田委員より、まちづくりに係る改訂内容について資料4に  
基づき説明がなされた。

・管理研修会テキスト改訂ワーキンググループより、まちづく  
りに係る執筆を依頼された。

・本委員会の事例集とは直接関係しないが、現在まとめている  
内容について報告し、意見があれば伺うことにしたい。

・従来のテキストは景観を重点に書かれていたが、改訂ワーキ  
ンググループの意向で、景観をとり、「まちづくり」の題目  
にして執筆している。建築士事務所が業として活動できるこ  
とに視点をおいて、景観・まちづくり専門委員会の事例も参  
考にしながら書き直しも考えている。

・5項目あるが今後作成する事例集ともなじませるように分類  
に当てはめて表示してもよいと思う。

○米田委員および小澤委員が出席している推進協議会ワーキン  
ググループについて、先日両者とも出席できない日に開催さ  
れたため、同グループ事務局よりその内容説明を受けた後、  
本委員会へ伝えたい旨、米田委員より報告がなされた。

第6回委員会：令和4年4月7日（木）13：30～15：30

第7回委員会：令和4年7月8日（金）13：30～15：30

## ■主な行事予定

令和4年

2月	17日	60周年事業特別委員会
	18日	法制度対応特別委員会
	21日	総務・財務委員会 業務報酬基準検討委員会
	22日	業務開発専門委員会
	24日	管理研修会テキスト改訂WG
3月	9日	正副会長会
	11日	構造技術専門委員会

令和4年1月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 令和4年1月1日～1月31日  
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,438事務所  
 賛助会員 5社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道	+ 1	1,005	4,261	23.6%	+ 1	285	28.4%
青 森	- 1	163	922	17.7%		44	27.0%
岩 手		266	849	31.3%		73	27.4%
宮 城		343	1,907	18.0%		79	23.0%
秋 田		148	1,034	14.3%		46	31.1%
山 形	+ 9	204	1,107	18.4%		61	29.9%
福 島	- 1	229	1,518	15.1%		65	28.4%
茨 城		454	1,919	23.7%		161	35.5%
栃 木		163	1,324	12.3%		78	47.9%
群 馬		190	1,638	11.6%		91	47.9%
埼 玉		457	4,628	9.9%		133	29.1%
千 葉	+ 2	353	3,320	10.6%		116	32.9%
東 京		1,605	14,841	10.8%	+ 1	617	38.4%
神奈川	- 4	725	5,886	12.3%		227	31.3%
新 潟	- 1	314	2,219	14.2%		134	42.7%
長 野		402	2,068	19.4%		110	27.4%
山 梨		108	814	13.3%		14	13.0%
富 山		298	1,159	25.7%		66	22.1%
石 川		315	1,265	24.9%		63	20.0%
福 井		211	954	22.1%		55	26.1%
静 岡		394	3,047	12.9%		136	34.5%
愛 知	- 1	523	5,037	10.4%		134	25.6%
三 重	+ 2	189	1,191	15.9%		65	34.4%
滋 賀		184	1,114	16.5%		41	22.3%
京 都	- 3	369	2,195	16.8%		107	29.0%
大 阪		798	6,356	12.6%		239	29.9%
兵 庫	- 2	359	3,560	10.1%		102	28.4%
奈 良	- 1	106	856	12.4%		26	24.5%
和歌山		118	734	16.1%		22	18.6%
鳥 取		118	483	24.4%		53	44.9%
島 根		111	610	18.2%		58	52.3%
岡 山		375	1,426	26.3%		74	19.7%
広 島		350	2,286	15.3%		153	43.7%
山 口		104	1,011	10.3%		40	38.5%
徳 島	+ 2	111	834	13.3%		16	14.4%
香 川		87	1,028	8.5%		21	24.1%
愛 媛		185	1,182	15.7%		51	27.6%
高 知		138	640	21.6%		32	23.2%
福 岡		471	3,271	14.4%		174	36.9%
佐 賀		183	598	30.6%		47	25.7%
長 崎		234	798	29.3%		44	18.8%
熊 本		238	1,407	16.9%		102	42.9%
大 分		155	860	18.0%		46	29.7%
宮 崎		115	1,042	11.0%		46	40.0%
鹿 児 島	+ 2	293	1,103	26.6%		87	29.7%
沖 縄		177	1,313	13.5%		67	37.9%
計	+ 4	14,438	97,615	14.8%	+ 2	4,501	31.2%

※建築士事務所登録数(B)は令和3年4月1日時点の数字である。